

青谷高等学校のあり方を考える協議会
の取り組みについて

平成27年7月22日

趣 意 書

鳥取県立青谷高等学校は、昭和23年に開校、平成11年度には総合学科に改編し、平成26年度は66周年となります。総合学科としての現在は、ビジネス・情報、芸術文化など自分の興味、進路に応じた選択学習を取り入れ、また、生徒指導の充実、確かな学力の定着、地域との連携を重点目標とし、複雑化している社会を生き抜くため、「社会人として通用する人材育成」を目指しています。しかし、少子化による生徒減少の中で、高い教育力や魅力と活力にあふれる高等学校を目指し、今後の在り方について各関係機関で検討がなされています。

このような状況の中、青谷高等学校も「県立高等学校の在り方に関する基本方針」に沿って、平成26年度入学定員は1クラス減の114名となりました。平成26年度の在籍者数は、定員418名に対して292名、西部地域（気高・鹿野・青谷）の在籍者は75名となっており、少子化の影響で減少しているものの、総合学科の魅力や通学の利便等から西部地域の志望者割合は今後も高く推移するものと思われる。

青谷高等学校は、総合学科に再編後は国際交流や地域との連携として、日中韓高校生国際シンポジウムの開催、地域の社会人講師を招いた授業を取り入れ、さらに青谷町内に限らず、保育園や各種イベントにボランティアとして参加するなど、幅広い分野で人づくりの活動を広げています。また、スポーツ関係では卓球部男子が全国高校総体に通算30回出場、弓道部は全国、中国大会出場、文化関係では放送部や書道部が全国、近畿での総合文化祭に出場するなど、特色ある高等学校であります。

鳥取市が策定した「新市域振興ビジョン推進計画」でも、青谷高等学校の存続や活性化は地域において重要な問題として挙げ、「卓球のまち青谷の復活」として計画に盛り込むなど、官民一体となって盛り上げていくこととしています。

以上のことから、青谷地域はもとより、西部地域の今後の活性化の観点からも青谷高等学校は不可欠と認識し、地域の学校として地域で支える体制づくり、特色や魅力のある学校を目指し、青谷高等学校のあり方を考える協議会を立ち上げるものです。

平成26年12月20日

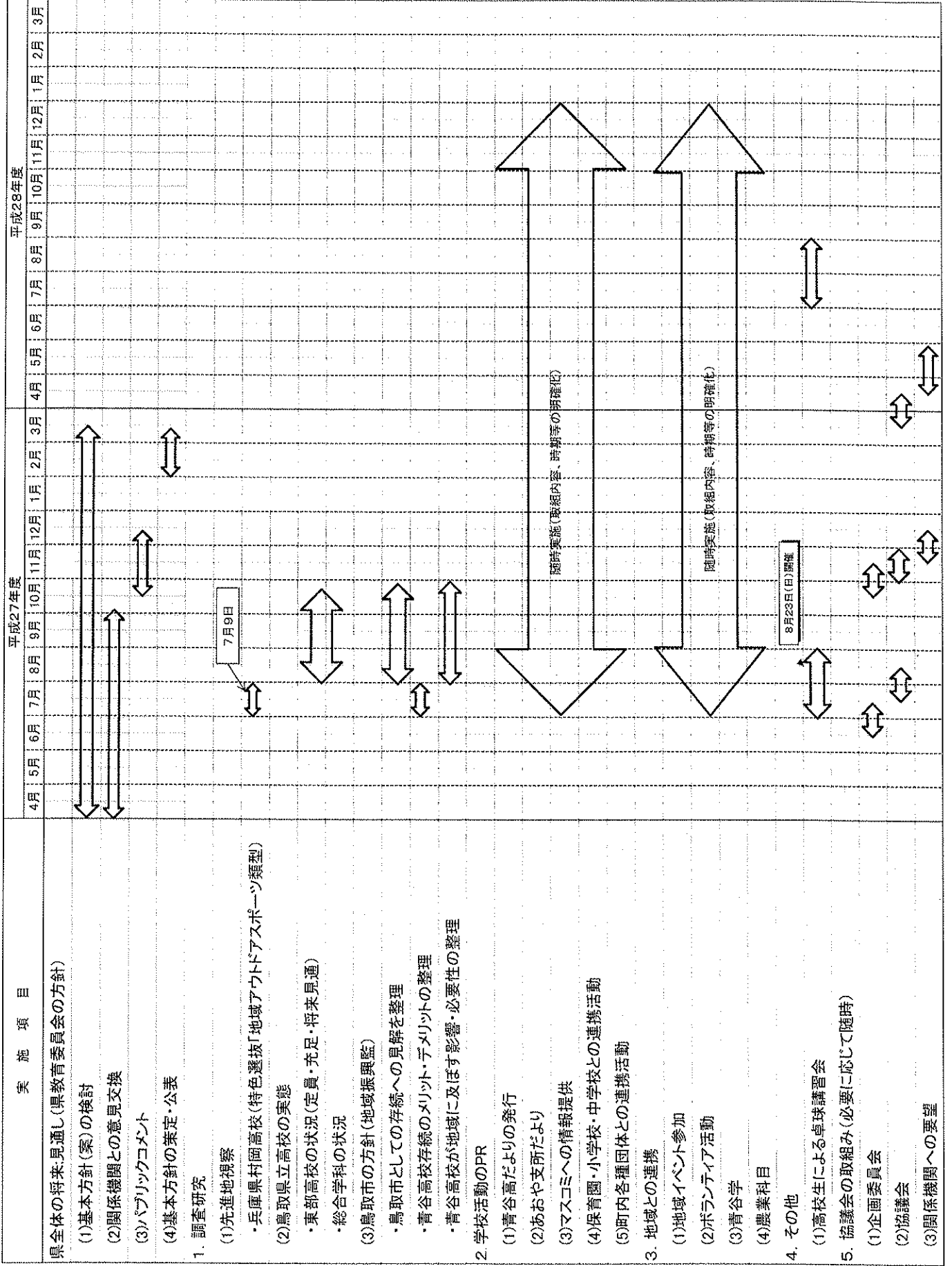
青谷高等学校のあり方を考える協議会委員名簿

任期：平成26年12月20日から2年間

役職名	氏名	所属	企画委員
会長	倉恒 俊一	青谷高等学校同窓会会長	○
委員	安岡 敬恒	青谷高等学校PTA会長	
委員	浜江 康雄	青谷町自治連合会会長	
委員	高橋 克己	青谷地域振興会議会長	○
委員	鱸 雅子	青谷地域振興会議副会長・更生保護女性会委員	
委員	奥谷 吉男	青谷地域振興会議委員	○
委員	大塩 朋	青谷高等学校校長	○
委員	米村 安弘	鳥取市西商工会青谷地域活性化委員会副会長	
委員	山根 恵	青谷地区まちづくり協議会会長	
委員	宇多川淳子	青谷地区民生児童委員協議会主任児童委員	○
委員	芳尾 範子	青谷こども学園園長	
委員	山根 敬一	鳥取県卓球連盟副会長	
委員	国森 洋	青谷町総合支所長	
委員	鈴木 敏	気高町総合支所長	
委員	徳岡 義広	鹿野町総合支所長	
アドバイザー	久野 壯	地域振興監 地域振興課長	

事務局	武田 敏男	青谷町総合支所副支所長兼地域振興課長
	長田 和浩	青谷町総合支所地域振興課課長補佐

【青谷高等学校のあり方を考える協議会 行動計画スケジュール(案)】



青谷高等学校のあり方を考える協議会先進地視察（概要）

平成27年7月9日

視察参加者 奥谷委員、山根委員、鱸委員、国森支所長、武田副支所長、長田補佐

【兵庫県立村岡高等学校】

応対者 澁谷校長、中村教頭、谷事務長、吉田生活部長、今井生徒指導部長
安田地域おこし協力隊員

・村岡高等学校の地域連携の特徴

青谷高校は、4つの系列によって目指す方向によってまとまった学習を行い、それとは別にときどき地域との連携を行っている。村岡高校では、地域連携を全員で行っている。地域アウトドアスポーツ類型では、1年時に地域連携といった科目があり、2年時・3年時にアウトドアに関連した特別な科目が組み立てられており、それを核として全校をあげて様々な活動を展開している。また、他の教科に属していない総合学習があり、それを利用して地域イベント等の参画を行っている。

・学級数の減少に対応した取り組み

以前は5クラスあったが、それが4クラスになり、だんだん減り2クラスになり、今の3年生は1クラスになった。1クラスになると兵庫県の基本計画では、なくなるか中学校との連携学校になることになるが、地元でいろいろな会議を行い、さらに打って出て、何とか2クラスに押し戻した。（但し、現在でも80人の定員に対し60人）

【香美町商工会村岡支所】

応対者 古谷副会長、諏訪村岡支所長

・地域が見る村岡高等学校とは

高校が打ち出した生徒が地域に入っていく「地域に根差した学校」への取り組み以外に、地域でも生徒を育てていくようになった。地域が高齢化している中で、高校生が企画や運営に参加してもらっており、貴重な人材である。地域イベントが高校生で成り立っている状況となっている。

・高校の存在について

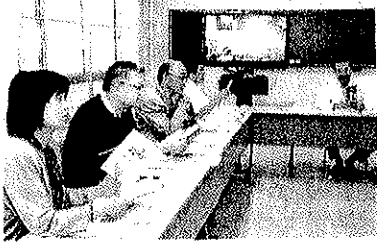
高校に通う生徒は大半が村岡区、小代区、関宮の一部で占めている。地元で高校がなくなれば、若い人の行くところがなくなる。また、現在いる生徒は、八鹿、香住、豊岡に通うこととなるが、八鹿にはバス路線があるが、香住・豊岡は距離的に遠く、親の送迎や子供を下宿させることとなり、経済的な負担が増大する。（村岡高校に地域外から来ている生徒の20人程度が下宿している。）

地域に学校がなくなると、子供に下宿等をさせることとなり、子供を持つ親が地域にいる必要がなくなる。

・高校の統廃合等に対する地域の取り組みについて

クラス数の減少等が議題になる度に、PTAや地域住民が中心となり署名活動を行い、町議会や学校に要望を行っている。署名には、村岡・小代のほぼ全員がしてもらっており、高校に対する地域住民の意識が非常に高い。

兵庫・村岡高の
地域連携教育が
青谷高支援の視察団
地域との連携で実践
型教育を進める兵庫県
立村岡高(香美町)の



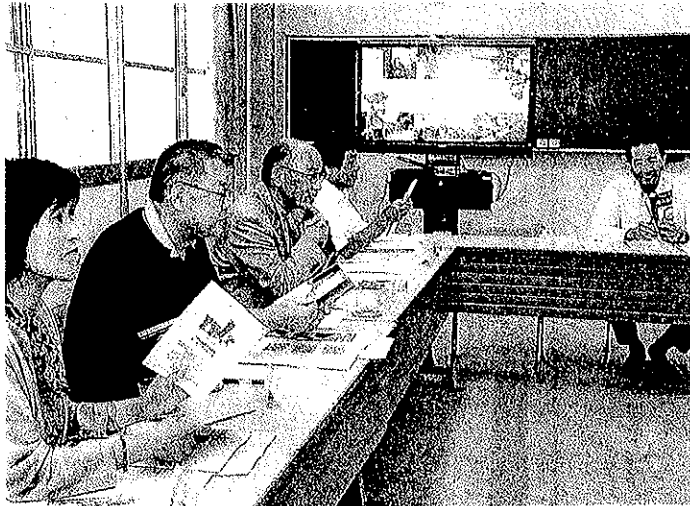
村岡高生が作ったマ
ラソン大会のパンフ
レットを参考に意見
を述べる視察団(左
側)9日、兵庫県香
美町の村岡高

取り組みを参考にしよ
うと、鳥取市青谷町な
どの視察団が9日、同
校を訪れ、高校の魅力
向上や地域振興策につ
いて意見を交わした。
少子化で学校の規模
縮小や統廃合が懸念さ
れる中、鳥取市青谷
気高、鹿野の3町では、
鳥取県立青谷高をサポ
ートするため、各総合
支所長や地域振興会員

らで「青谷高のあり方
を考える協議会」を設
置している。特色選抜
で県外からも生徒を受
け入れる村岡高からヒ
ントを得ようとメンバ
ー6人が視察した。
村岡高の教諭や総合
的な学習を支援する教
育コーディネーター
が、同校の「地域アウ
トドアスポーツ類型」
について紹介。協議会
メンバーは、マラン
ソン大会運営へのボラ
ンティア参加や、鳥取大
の協力で地域活性化策
を町に提言している取
り組みについて、熱心
に質問した。
同市青谷町総合支所
の国森洋支所長は、村
岡高が地域と一緒にな
ってまちづくりに貢献
している点を評価。「青
谷町も和紙や卓球など
の特性を生かして学校
をサポートしたい」と
話していた。

地域と学校連携探る

村岡高に鳥取から視察団



地域との連携で実践
型教育を進める県立村
岡高の取り組みを参考
にしようと、鳥取市青
谷町などの視察団が9
日、香美町村岡区と同
校を訪れ、高校の魅力
向上や地域振興策につ
いて意見を交わした。
少子化で学校の規模
縮小や統廃合が懸念さ
れる中、鳥取市青谷
気高、鹿野の3町では、
鳥取県立青谷高をサポ
ートしようと、各総合
支所長や地域振興会員
らで「青谷高のあり方
を考える協議会」を設
置している。この日は、
特色選抜で県外からも
生徒を受け入れる村岡
高からヒントを得よう
と、協議会から6人が
視察に訪れた。

村岡高の教諭や総合
的な学習を支援する教
育コーディネーター
が、同校の「地域アウ
トドアスポーツ類型」
について紹介。マラン
ソン大会の運営にボラ
ンティアとして参加したり、鳥
取大の協力で地域活性
化策を町に提言してい
る様子について、協議
会メンバーは熱心に質
問した。

同市青谷町総合支所
の国森洋支所長は、村
岡高が地域と一緒にな
ってまちづくりに貢献
している点を評価。「青
谷町も和紙や卓球など
の特性を生かして学校
をサポートしたい」と
意欲を語った。村岡高
の渋谷義人校長は「学
校と地域づくりへの情
熱を感じた。互いの長
所を吸収したい」と
話していた。
(松本妙子)

但馬



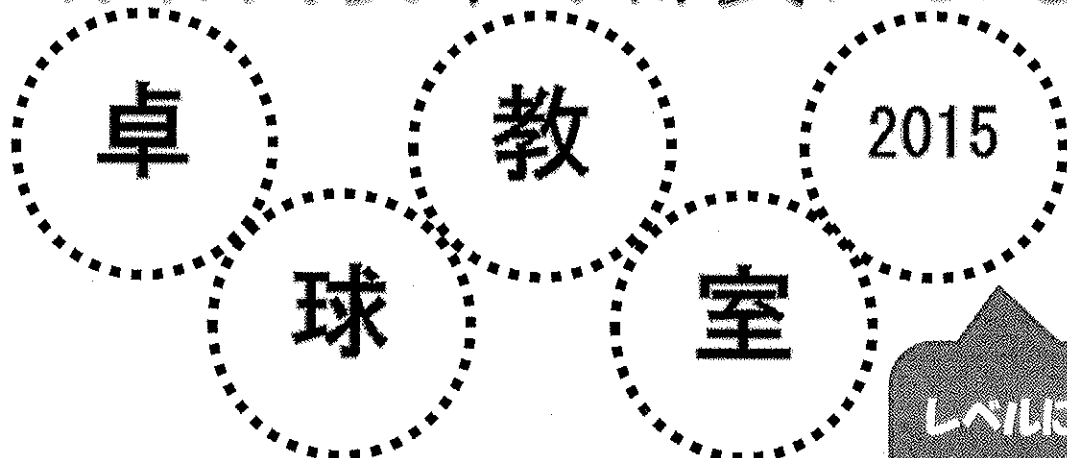
但馬支社

〒669-6701
美方郡新温泉町芦屋145-3
TEL(0796)82-4541
FAX(0796)82-4544

豊岡通信部

〒668-0052
豊岡市九日市下町24-3
ガーデンブライトA201号
TEL(0796)29-2003
FAX(0796)29-2005

青谷高校卓球部員による



参加者募集！！

レベルに応じた
指導を行います。

日時： 8月23日（日）9：30～11：30

場所： 青谷町農林漁業者トレーニングセンター

対象： 鳥取市内小中学生及び一般 先着100名

参加料： 無料 ラケット、運動靴を持ってきてね♪♪

申込期限： 8月14日（金）定員に達し次第締め切ります。

青谷高校卓球部員から、卓球の基礎基本を教わる絶好の機会です。

申し込み及び問い合わせ先

青谷町総合支所域振興課 電話 85-0011

F a x 85-1049

主催：青谷高等学校のあり方を考える協議会

共催：青谷高等学校、鳥取市体育協会青谷町支部

後援：青谷町卓球協会、青谷高等学校卓球部OB会

1 青谷高校の沿革（抜粋）

昭和 23. 4.27	鳥取県告示により、鳥取県立青谷高等学校(定時制)設置認可
昭和 23. 5. 1	青谷中学校の一部を仮校舎として開校。5月1日を創立記念日とする鹿野分校を鹿野中学校の一部を仮校舎として開始
昭和 28. 4. 1	高校再編成により単独に鳥取県立青谷高等学校全日制普通科となり、定時制は募集停止
昭和 30. 3. 8	校歌制定
昭和 31. 4. 1	全日制家庭科(定員 50 名)を設置
昭和 40. 4. 1	家庭科を家政科と科名変更
昭和 51. 4. 1	普通科 1 学級増設、家政科募集停止
平成 5. 7	中華人民共和国江蘇省太倉市太倉師範学校との交流を始める
平成 7. 4. 1	コース制(情報・国際・文理)の開始
平成 11. 4. 1	高校教育改革により総合学科に改編し、普通科は募集停止。定員 160 名
平成 12. 3	スクール・エンブレム「A」作製
平成 17. 3	青谷高等学校後援会市町村合併(11.1)に伴い解散
平成 17. 9	鳥取市との初の共催で「第 10 回目・中・韓高校生国際シンポジウム」を開催
平成 20.6.20	創立 60 周年記念式典挙行
平成 26. 4. 1	高校教育改革により募集定員 114 名となる

2 青谷高校の重点目標

【中長期目標】

人づくり—社会人として通用する人間を育てる—

【重点目標】

- 1 生徒指導の充実・・・「時を守り、場を清め、礼を正す。」「大きな声で校歌を歌う。」
- 2 「確かな学力」の定着・・・基礎学力の定着+キャリア教育の充実+自信と誇りの育成
- 3 地域との連携

3 生徒数の推移

(1) 在籍者数

		H 2 5	H 2 6	H 2 7
3年	定員	152	152	114
	在籍数	94	108	87
2年	定員	152	152	114
	在籍数	124	92	89
1年	定員	152	114	114
	在籍数	96	92	76
計	定員	456	418	342
	在籍数	314	292	252

(2) 在籍者数地域別

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
旧気高郡	128	111	88	75	71
鳥取市東部	217	212	186	187	163
中部・その他	41	50	40	30	18

(3) 入学者数地域別

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
旧気高郡	28	34	29	16	26
鳥取市東部	60	81	60	69	45
中部・その他	17	24	7	7	5

(4) 通学調査

	列車	徒歩	自転車	その他
3年	77	3	4	3
2年	79	3	3	4
1年	63	3	8	2
計	252	9	15	9

4 進路状況 ※未定除く

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6
大学	12	11	7	8
短大	23	17	14	14
専門学校	39	59	26	27
就職	46	45	36	46

5 部活動（活躍の顕著なもの）

<運動部>

卓球部（男子・全国高校総体通算30回出場、中国高校通算40回出場）

弓道部（中国大会出場）

<文化部>

放送部（H25全国高校総合文化祭出場）

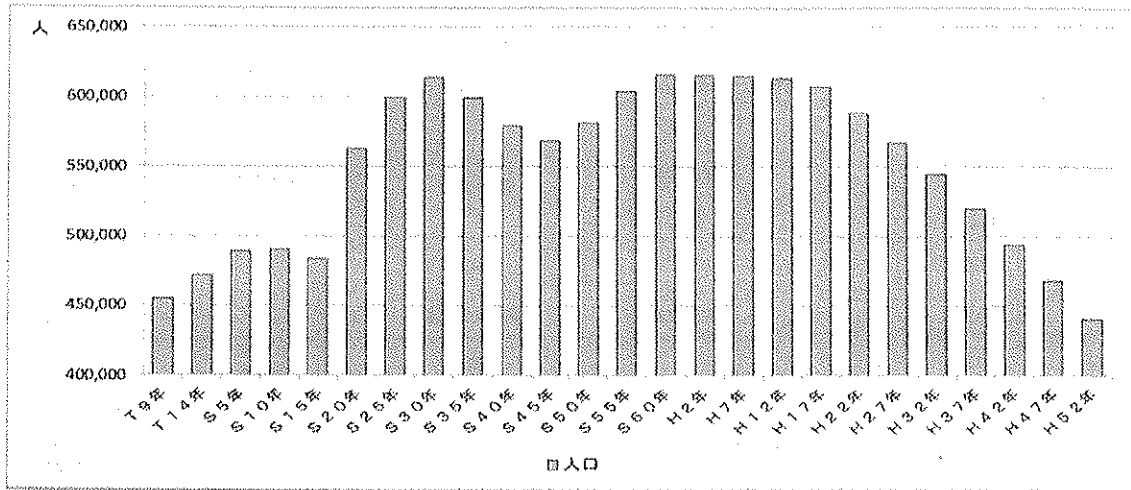
書道部（H26近畿高校総合文化祭出場）

6 地域との連携、ボランティア活動等

(1) 社会人講師授業

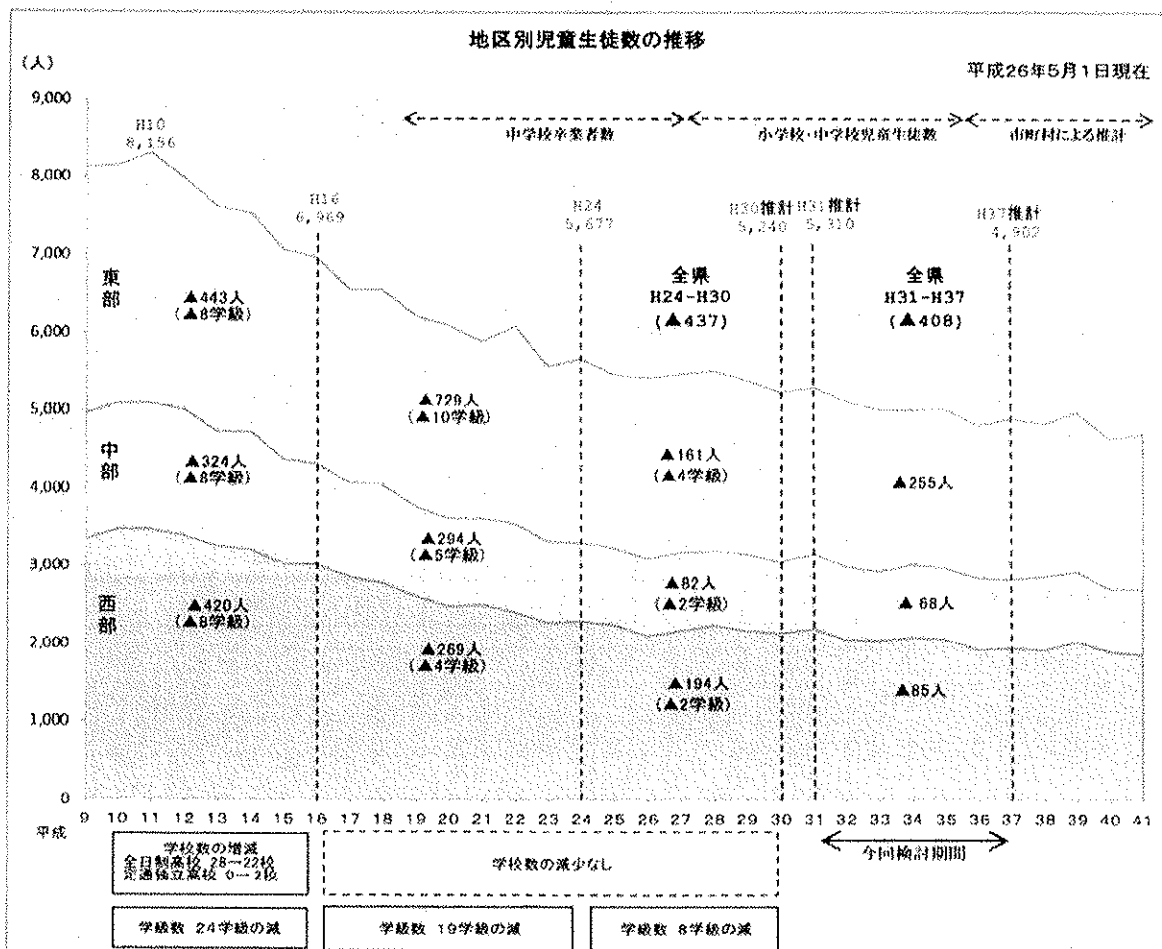
事業名	講師
高校生のための法律教室（3年次）	青谷町・長谷川司法書士
職業人に学ぶ（2年次）	あおや郷土館、鳥の劇場 気高芸術まちづくり事務局、青谷和紙株式会社
部活動外部指導者	華道部：房安恵子 卓球部：山根敬一、赤穂陽治、長谷川宏
農業（生物活用）	田中正人
工芸（ランプシェード作り）	あおや和紙工房
音楽（日本の伝統芸能）	鷲峰太鼓連

【(図1) 鳥取県人口の推移】



(出典) 「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月公表データより)

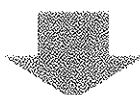
【(図2) 地区別児童生徒数の推移】



【(図3) 県立全日制高等学校募集学級規模別学校一覧 (平成17年度・平成26年度)】

(平成17年度)

地区	学科	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	合計
東部地区	普通			岩美				鳥取東 八頭	鳥取西	4校 29学級
	専門			智頭農林		鳥取工業 鳥取湖陵		鳥取商業		4校 24学級
	総合			青谷						1校 4学級
中部地区	普通				倉吉西 鳥取中央育英	倉吉東				3校 16学級
	専門			倉吉農業		倉吉総合産業				2校 10学級
西部地区	普通					境		米子東 米子西		3校 22学級
	専門				米子南 米子工業	境港総合技術				3校 16学級
	総合		日野	米子						2校 7学級
合計			1校	5校	4校	6校		5校	1校	22校 128学級
規模別学校数割合			4.5%	22.7%	18.2%	27.3%		22.7%	4.5%	



(平成26年度)

地区	学科	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	合計
東部地区	普通		岩美					鳥取東 八頭	鳥取西	4校 25学級
	専門		智頭農林		鳥取商業 鳥取工業 鳥取湖陵					4校 18学級
	総合		青谷							1校 3学級
中部地区	普通			倉吉西 鳥取中央育英	倉吉東					3校 13学級
	専門		倉吉農業		倉吉総合産業					2校 8学級
西部地区	普通					境		米子東 米子西		3校 21学級
	専門			米子南	米子工業	境港総合技術				3校 14学級
	総合	日野		米子						2校 6学級
合計		1校	4校	4校	8校		2校	3校		22校 108学級
規模別学校数割合		4.5%	18.2%	18.2%	36.4%		9.1%	13.6%		

ウ 総合学科

総合学科は、共通教科及び専門教科のうちから、生徒の興味・関心に応じて科目を選択して学習できる学科であり、本県では、平成10年度以降に3校を設置している。総合学科では、自己の将来の生き方や在り方についての考察及び望ましい勤労観や職業観を育成するために、「産業社会と人間」を原則履修科目としており、加えて、ある特定の分野別にまとめた多様な選択科目が用意されていることにより、生徒が自らの進路希望に応じて学習できることなどが期待できる。

しかし、「多くの選択科目が用意されているという特色が本当に活かされているか」、「選択科目が設置当初から見直されていないのでは」、「中学校や地域に対して総合学科が十分に理解されていないのでは」との課題も聞かれる。

今後は、地域や学校の実態に応じた系列の検討や系列にとらわれない自由な選択科目群の設定などの工夫を行い、一層の特色化を進め、魅力ある学校づくりに取り組むとともに、その取組を積極的に中学校や地域にPRしていく必要がある。

なお、総合学科では、生徒の興味・関心に応じて科目選択ができることから多様な進路選択が可能となるものの、近年入学者が募集定員に満たない学校もあり、設置当初よりも学校が小規模となってきた。

今後、総合学科の持つ課題や成果等について引き続き検証するとともに、その特徴を生かした生徒や地域のニーズに応える魅力や特色のある学校づくりについて検討していくことが求められる。

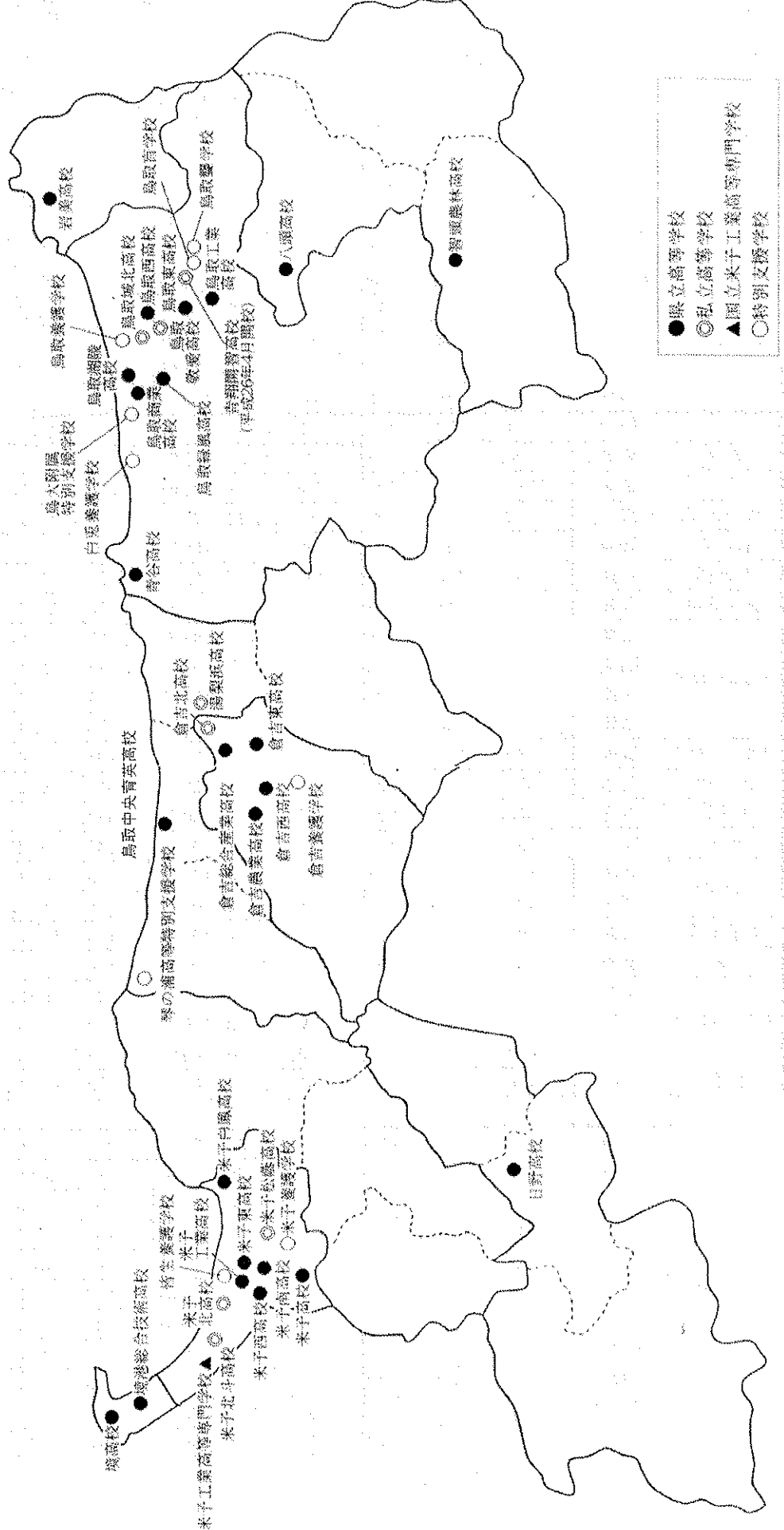
<資料5> 郡市別児童生徒数の推移（平成26年5月1日現在）

平成26年5月1日現在

中学卒業年次 (現在の学年)	中学卒業者数																		学校基本調査										推計					
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	
																				(中3)	(中2)	(中1)	(小6)	(小5)	(小4)	(小3)	(小2)	(小1)	(5歳)	(4歳)	(3歳)	(2歳)	(1歳)	(0歳)
全県 (増減)	8,122 △169	8,156 34	8,309 153	7,985 △324	7,612 △370	7,533 △79	7,069 △464	6,969 △100	6,560 △408	6,557 △3	6,223 △306	5,902 △127	5,902 △194	5,677 △181	5,568 △515	5,467 △210	5,427 △40	5,427 △40	5,472 △45	5,512 △40	5,393 △119	5,240 △153	5,310 △70	5,125 △185	5,019 △106	5,012 △7	4,817 △17	4,902 △212	4,837 △85	4,979 △142	4,645 △324	4,712 △67		
鳥取市	1,796	1,878	1,874	1,834	1,780	1,730	1,657	1,632	2,172	2,118	1,938	1,894	1,894	1,813	1,713	1,725	1,740	1,606	1,673	1,724	1,669	1,702	1,821	1,676	1,690	1,720	1,709	1,694	1,671	1,664	1,783	1,662	1,643	
岩美郡	348	391	390	377	365	340	328	344	156	145	163	137	121	136	99	108	96	111	100	106	91	109	104	111	87	86	88	85	87	94	76	76	71	
八雲郡	724	734	750	686	687	686	608	610	390	379	362	309	343	314	318	303	271	238	250	258	231	254	203	207	208	212	200	174	192	179	172	177	160	
美郷郡	330	319	299	329	278	301	289	286																										
鳥大附属中	154	150	160	157	154	156	154	157	155	154	159	155	154	150	152	154	153	153	154	153	138	74	77	75	64	70	69							
青森開智																					48													
小計	3,352	3,472	3,473	3,383	3,264	3,213	3,036	3,029	2,873	2,796	2,622	2,495	2,512	2,413	2,282	2,300	2,260	2,108	2,177	2,241	2,177	2,139	2,205	2,069	2,049	2,088	2,066	1,933	1,950	1,937	2,031	1,915	1,874	
(増減)	△190	120	1	△80	△129	△51	△177	△7	△156	△77	△174	△127	17	△99	△131	18	△40	△152	69	64	△64	△38	66	△136	△20	39	△22	△133	17	△13	94	△116	△41	
倉吉市	680	645	663	637	554	610	520	546	530	558	520	485	497	504	488	437	441	445	431	410	410	410	411	438	400	434	426	441	390	405	434	363	413	
真伯郡	934	975	956	984	917	897	817	750	678	696	629	639	590	606	532	535	515	530	530	501	542	510	549	493	463	508	486	477	502	529	473	441	426	
湯梨浜中													17	24	17	29	31	24	28	26	28													
小計	1,614	1,620	1,619	1,621	1,471	1,507	1,337	1,296	1,208	1,254	1,149	1,124	1,104	1,134	1,037	1,002	979	995	1,003	958	980	920	960	931	863	942	912	918	892	933	907	804	839	
(増減)	△48	6	△1	2	△150	36	△170	△41	△88	46	△105	△25	△20	30	△97	△35	△23	16	8	△45	22	△60	40	△29	△48	59	△30	6	△26	41	△26	△103	35	
米子市	1,708	1,607	1,777	1,578	1,581	1,510	1,441	1,479	1,436	1,477	1,478	1,485	1,434	1,542	1,380	1,471	1,399	1,476	1,447	1,492	1,461	1,404	1,377	1,411	1,372	1,271	1,413	1,323	1,392	1,341	1,415	1,328	1,409	
境港市	481	461	471	480	411	421	398	364	410	377	376	402	355	386	333	360	330	349	350	323	316	312	288	293	295	283	280	297	291	301	284	286	261	
鹿田郡	650	671	624	602	556	615	580	533	453	461	405	398	335	436	369	412	335	356	358	372	332	381	402	353	357	369	305	307	318	290	293	265	273	
白野郡	251	253	269	229	238	214	223	203	135	129	130	132	120	124	121	88	100	85	82	82	77	84	78	68	63	58	53	39	58	35	48	47	56	
北斗中	66	72	76	82	86	53	54	65	45	63	63	60	42	48	46	44	64	58	55	44	50													
小計	3,156	3,064	3,217	2,971	2,877	2,813	2,696	2,644	2,479	2,507	2,452	2,477	2,286	2,536	2,249	2,375	2,228	2,324	2,292	2,313	2,236	2,181	2,145	2,125	2,087	1,982	2,051	1,966	2,060	1,967	2,041	1,926	1,999	
(増減)	89	△92	153	△246	△94	△64	△117	△52	△165	28	△55	25	△191	250	△287	126	△147	96	△32	△21	△77	△55	△36	△20	△38	△106	69	△85	94	△93	74	△115	73	

(注1) 平成26年以前は、3月中学卒業者数。
 (注2) 平成27～29年は、平成26年5月1日現在の中学校在籍者数。真砂中は米子市に含まれている。(特別支援学校中学生部生数は含まず)
 (注3) 平成30～35年は、平成26年5月1日現在の小学校在籍者数。(特別支援学校児童部生数は含まず)
 (注4) 平成36年以降は、市町村の推計による。実人数。
 (注5) 平成17年以降は、市町村合併後の新しい市のものである。

<資料10> 鳥取県の高等学校等設置状況(平成26年度)



<資料12> 県立高等学校（全日制）の生徒数一覧（平成26年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	学科	定員			1年			2年			3年		
		1年	2年	3年	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率
鳥取東	普通	240	280	280	243	3	101.3%	283	3	101.1%	275	△ 5	98.2%
	理数	40	40	40	40	0	100.0%	40	0	100.0%	38	△ 2	95.0%
鳥取西	普通	320	320	320	321	1	100.3%	319	△ 1	99.7%	321	1	100.3%
鳥取商業	商業	190	190	190	164	△ 26	86.3%	191	1	100.5%	191	1	100.5%
鳥取工業	工業	152	152	152	119	△ 33	78.3%	148	△ 4	97.4%	144	△ 8	94.7%
	理数工学	38	38	38	35	△ 3	92.1%	37	△ 1	97.4%	35	△ 3	92.1%
鳥取湖陵	農業	76	76	76	76	0	100.0%	74	△ 2	97.4%	73	△ 3	96.1%
	工業	38	38	38	38	0	100.0%	31	△ 7	81.6%	37	△ 1	97.4%
	家庭	38	38	38	39	1	102.6%	38	0	100.0%	38	0	100.0%
	情報	38	38	38	39	1	102.6%	37	△ 1	97.4%	36	△ 2	94.7%
青谷	総合	114	152	152	92	△ 22	80.7%	92	△ 60	60.5%	108	△ 44	71.1%
岩美	普通	114	114	114	75	△ 39	65.8%	63	△ 51	55.3%	90	△ 24	78.9%
八頭	普通	280	280	280	279	△ 1	99.6%	280	0	100.0%	267	△ 13	95.4%
智頭農林	農業	80	80	80	57	△ 23	71.3%	68	△ 12	85.0%	60	△ 20	75.0%
倉吉東	普通	200	200	200	205	5	102.5%	202	2	101.0%	195	△ 5	97.5%
倉吉西	普通	160	160	160	153	△ 7	95.6%	157	△ 3	98.1%	151	△ 9	94.4%
倉吉農業	農業	114	114	114	99	△ 15	86.8%	70	△ 44	61.4%	50	△ 64	43.9%
倉吉総合産業	工業	76	76	76	75	△ 1	98.7%	68	△ 8	89.5%	69	△ 7	90.8%
	商業	38	38	38	35	△ 3	92.1%	37	△ 1	97.4%	39	1	102.6%
	家庭	38	38	38	38	0	100.0%	34	△ 4	89.5%	35	△ 3	92.1%
	情報	38	38	38	36	△ 2	94.7%	34	△ 4	89.5%	36	△ 2	94.7%
鳥取中央育英	普通	160	160	160	163	3	101.9%	136	△ 24	85.0%	144	△ 16	90.0%
米子東	普通	320	320	320	321	1	100.3%	317	△ 3	99.1%	319	△ 1	99.7%
米子西	普通	320	320	320	320	0	100.0%	324	4	101.3%	310	△ 10	96.9%
米子	総合	152	152	152	153	1	100.7%	148	△ 4	97.4%	147	△ 5	96.7%
米子南	商業	114	114	114	114	0	100.0%	113	△ 1	99.1%	117	3	102.6%
	家庭	38	38	38	38	0	100.0%	36	△ 2	94.7%	37	△ 1	97.4%
米子工業	工業	190	190	190	192	2	101.1%	170	△ 20	89.5%	182	△ 8	95.8%
境	普通	200	200	200	201	1	100.5%	198	△ 2	99.0%	202	2	101.0%
境港総合技術	水産	76	76	76	76	0	100.0%	63	△ 13	82.9%	75	△ 1	98.7%
	工業	76	76	76	76	0	100.0%	72	△ 4	94.7%	67	△ 9	88.2%
	福祉	38	38	38	38	0	100.0%	37	△ 1	97.4%	37	△ 1	97.4%
日野	総合	76	114	114	63	△ 13	82.9%	53	△ 61	46.5%	45	△ 69	39.5%
学科別集計	普通	2,314	2,354	2,354	2,281	△ 33	98.6%	2,279	△ 75	96.8%	2,274	△ 80	96.6%
	農業	270	270	270	232	△ 38	85.9%	212	△ 58	78.5%	183	△ 87	67.8%
	水産	76	76	76	76	0	100.0%	63	△ 13	82.9%	75	△ 1	98.7%
	工業	532	532	532	500	△ 32	94.0%	489	△ 43	91.9%	499	△ 33	93.8%
	商業	342	342	342	313	△ 29	91.5%	341	△ 1	99.7%	347	5	101.5%
	家庭	114	114	114	115	1	100.9%	108	△ 6	94.7%	110	△ 4	96.5%
	福祉	38	38	38	38	0	100.0%	37	△ 1	97.4%	37	△ 1	97.4%
	情報	76	76	76	75	△ 1	98.7%	71	△ 5	93.4%	72	△ 4	94.7%
	理数	40	40	40	40	0	100.0%	40	0	100.0%	38	△ 2	95.0%
	理数工学	38	38	38	35	△ 3	92.1%	37	△ 1	97.4%	35	△ 3	92.1%
	総合	342	418	418	308	△ 34	90.1%	293	△ 125	70.1%	300	△ 118	71.8%
	計		4,182	4,298	4,298	4,013	△ 169	96.0%	3,970	△ 328	92.4%	3,970	△ 328

〔学校便覧(H26.5.1)より〕

<資料15> 総合学科について

1 総合学科の概要

○総合学科は、普通教育を主とする学科である「普通科」、専門教育を主とする学科である「専門学科」に並ぶものとして、普通教育と専門教育とを総合的に行う学科として、平成6年4月から制度化

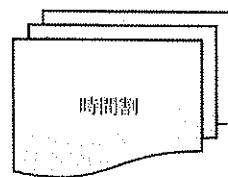
○必修科目の他に、原則履修科目（産業社会と人間）、総合選択科目、自由選択科目を設置

○幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択することができる単位制の学科

○選択科目には、共通教科から専門教科まで100前後の科目が設定してあり、多くの科目があるので、学校は選択の目安として系列を設定

⇒生徒は、この系列に沿って科目を選択していけば、系統だてて勉強することができるが、興味や関心に応じて系列以外の科目も選択可能

科目	内容	教育目標
必修科目	「すべての高校生が必ず学習するもの」 ● 国語、数学、英語など	基礎基本の習得
原則履修科目	「総合学科の生徒が必ず学習するもの」 産業社会と人間	進路への自覚
総合選択科目	「多くの科目群（系列）の中から、自分の進路に合った科目を選択」	個性を伸ばし、専門性を深める
自由選択科目	「総合選択科目以外の選択科目」 ● ハングル、小論文演習、環境科学、郷土の歴史 など	興味を広げる



★興味・関心や進路希望に沿った、自分だけの時間割の編成

2 本県の総合学科（全日制）の状況

学校	総合学科設置年度	系列の内容
青谷	H11年度	文理探究、ビジネス・情報、福祉・保育・生活科学、芸術文化
米子	H10年度	国際文化、自然科学、情報ビジネス、工芸デザイン、生活福祉、健康スポーツ
日野	H12年度	進学、アグリライフ、音楽、情報・ビジネス、福祉・健康

※系列内容は平成26年度のもの

